

# 愛史協

愛知県史跡整備市町村協議会 会報 第21号  
発行 平成24年3月31日

事務局 春日井市教育委員会 文化財課内  
電話 (0568) 33-1113

本年度の主な活動は、以下のとおりです。

## 平成23年度 総 会

平成23年8月11日（木）、愛西市（会場：愛西市佐屋公民館 大研修室）において、愛知県教育委員会生涯学習監を来賓として開催しました（出席者：41名）。議案（第1～7号議案）はいずれも原案のとおり承認され、20周年記念事業の実施・会長以下役員交代・規約改正に伴う分担金の変更（平成24年4月1日施行）など主要事項が決定されました。

議事終了後、「平成24年度県費予算」を企図した愛知県知事・愛知県教育委員会教育長宛の要望事項（「平成24年度県費予算に対する要望書」）について、愛知県教育委員会生涯学習監を通じて陳情しました。

### 1 議 案

- 第1号議案 平成22年度事業報告
- 第2号議案 平成22年度決算報告および監査報告
- 第3号議案 平成23年度事業計画（案）
- 第4号議案 平成23年度予算（案）
- 第5号議案 平成24年度県費予算要望事項（案）
- 第6号議案 規約の変更について
- 第7号議案 役員選出について

2 協議事項 次年度総会開催地について 平成24年度は西尾市での開催が決定（平成24年8月予定）

3 視 察 船頭平閘門・木曾川文庫



総会 議案審議



視察 船頭平閘門

## シンポジウム「文化財を守り、伝える」

平成 24 年 2 月 14 日（火）、安城市（安城市民交流センター 多目的ホール）において、「文化財を守り、伝える」をテーマに、愛史協設立 20 周年に当たる本年度は、通常の研修会に代えて設立 20 周年記念シンポジウムとして開催しました（出席者 62 名）。会場には、文化財にまつわる情報交換・情報発信の場として PR コーナーも設けられました。

### 内 容

|                             |                  |
|-----------------------------|------------------|
| 基調講演「守り、伝える－愛知県の史跡を中心として－」  | 佐藤 正知氏（文化庁記念物課）  |
| 「現代社会における文化遺産の役割」           | 土生田純之氏（専修大学）     |
| 「文化遺産保存とその未来」               | 荻野 昌弘氏（関西学院大学）   |
| 事例発表「稲沢市尾張国分寺跡の国史跡指定と今後の展望」 | 北條 献示氏（稲沢市教育委員会） |
| 「豊田市足助重要伝統的建造物群の保存と活用」      | 森 泰通氏（豊田市教育委員会）  |

シンポジウム「文化財を守り、伝える」 コーディネーター 土生田純之氏

\*文化庁（行政）・考古学・社会学と立場を異にする視点からの史跡の保存・継承にまつわる基調講演に加え、最新の事例報告の後、土生田氏をコーディネーターとして報告者によるシンポジウムが行われました。シンポジウムでは、史跡整備には公式が存在しないこと（地域性）・保存が最終目的ではなく、活用は史跡がもつ多面的要素の一つに過ぎないこと（価値の多様性）・歴史的経緯を復元手法でどう捉えるか（重層性・連続性）・法規制による画一化が招く危惧と地域社会・歴史的風土とのかい離（脱中心化・調和）・継承のための不断の人材育成等、史跡整備にまつわる本質的な議論が展開されました。閉会に際しては、愛知県教育委員会文化財保護室 森繁雄室長が講評と設立 20 周年への祝辞を述べられました。



上段左から：佐藤氏・土生田氏・荻野氏・北條氏  
下 段 左：シンポジウム  
下 段 右 上：森氏・下 段 右 下：文化財 PR コーナー

# 地区協議会

## ■ 尾張地区協議会

2月17日（金）、武豊町（会場：武豊町立図書館 会議室）において開催しました（出席者20名）。

### 1 議 事

- (1) 尾張地区協議会の今後の活動および目的について
- (2) 設立20周年記念シンポジウムについて（意見交換）
- (3) 未指定の文化財の活用について
- (4) 開催地ローテーションの変更について

### 2 視 察 旧国鉄武豊線転車台・山崎古墳

## ○ 平成24年度は美浜町で開催

※武豊町の司会・進行により、議事内容について協議・確認を行いました。今後の尾張地区協議会の活動・目的については、過去の事業実績を踏まえて再確認し、過日開催された20周年記念シンポジウム及び未指定の文化財の活用については、意見交換を行いました。

地区協議会開催地について、ローテーションの変更案を協議し、平成33年度までの開催地が承認されました。

議事終了後の視察では、旧国鉄武豊線転車台及び整備中の山崎古墳について、武豊町歴史民俗資料館館長 横田秀史氏の説明を受けました。



尾張地区協議会 議事



尾張地区協議会 視察(転車台)

## ■ 三河地区協議会

3月7日（水）、蒲郡市（会場：蒲郡市博物館 研修室）において開催しました（出席者15名）。

### 1 講 演 「三河の中近世城館跡の整備について」

講師 奥田敏春氏（愛知中世城郭研究会会員、岡崎市文化財保護審議会委員）

### 2 協 議 地区協議会開催地ローテーションについて協議し、後日、平成36年度までの開催地が承認されました。

## ○ 平成24年度は幸田町で開催

※奥田氏は、現在の三河地域における整備事例を紹介・検討する中で、中近世城館は歴史の重層性・地域拠点としての性格を具備し、三河地域にとって特徴的な歴史遺産であるとし、安易な復元・利便性優先の整備の在り方に対し、史跡＝歴史資料、復元ではなく遺跡としての整備を優先すべきとされました。

講演後は、蒲郡市の司会・進行により、質疑応答・意見交換が行われ、中近世城館の整備に際しての課題・問題意識等が深化・共有されました。



三河地区協議会 講演



講師 奥田敏春氏

## 企画運営委員会

企画運営委員会は規約第 11 条に基づき、本会の事業計画等を策定・審議するための実務担当者会議として設置するもので、総会における役員改選に伴い、会長（春日井市教育委員会教育長 木股哲夫）より、平成 23 年 11 月 9 日付けで新委員を委嘱しました（任期平成 25 年度総会まで）。

平成 23 年度は、20 周年記念事業を主要議題として、会議を 3 回開催したほか、E-メール等を活用して意見集約・意思決定を行い、議事運営の迅速化・効率化を図りました。

### ◇ 企画運営委員会構成委員（平成 23 年 11 月 9 日付け委嘱）

春日井市（会長）、江南市・知立市（副会長）、名古屋市・阿久比町・安城市（理事）、新城市・田原市（監事）、豊橋市（前会長）、津島市・みよし市（前副会長）

### ◇ 企画運営委員会会議 \*会場はいずれも名古屋市教育館（名古屋市中区錦三丁目 16 番 6 号）

第 1 回 日時：平成 23 年 5 月 18 日（水）午後 1 時 30 分～4 時 30 分

主要議題：総会資料について・20 周年記念事業（シンポジウム・パンフレット）について・その他

第 2 回 日時：平成 23 年 11 月 9 日（水）午後 1 時 30 分～4 時 30 分

主要議題：委員委嘱、20 周年記念事業原案について（シンポジウム・パンフレット）、地区協議会の進め方について

第 3 回 日時：平成 24 年 1 月 26 日（木）午後 1 時 30 分～3 時 15 分

主要議題：20 周年記念シンポジウムの詳細について、パンフレット作成手順について、地区協議会の内容等について

\*第 2 回以降から新委員

## 『あいちの史跡』

『あいちの史跡』は、愛史協設立 20 周年記念事業の一つとして企画され、加盟団体の主要史跡等を掲載し、「史跡めぐり」に必要な情報をコンパクトに集約した小冊子です。

（平成 24 年 3 月 31 日付け、17,000 部発行、加盟団体への送付は 24 年度）

### 加盟団体一覧

#### 尾張地区（21 団体）

名古屋市、一宮市、瀬戸市、半田市、春日井市、津島市、犬山市、常滑市、江南市、小牧市、東海市、知多市、豊明市、愛西市、長久手市、東郷町、阿久比町、東浦町、南知多町、美浜町、武豊町

#### 三河地区（15 団体）

豊橋市、岡崎市、豊川市、豊田市、安城市、西尾市、蒲郡市、新城市、知立市、田原市、みよし市、幸田町、設楽町、東栄町、豊根村

※加盟団体は、平成 23 年度末の状況です。